

【記入例】宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法 <b>第12条第1項</b> <b>第30条第1項</b> の規定により、許可を申請します。 〇〇年〇月〇〇日 さいたま市長 殿 申請者 氏名 〇〇建設株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇		③ ※手数料欄		
1 工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	埼玉県さいたま市〇〇区〇〇 〇丁目〇番〇号 〇〇建設株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇 (埼玉県さいたま市〇〇区〇〇 〇丁目〇番〇号 〇〇建設株式会社 取締役 〇〇 〇〇)			
2 設計者住所氏名	〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇 株式会社〇〇設計 〇〇 〇〇			
3 工事施行者住所氏名	〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇 株式会社〇〇建設 代表取締役 〇〇 〇〇			
4 土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	埼玉県さいたま市〇〇区〇〇 〇丁目〇番〇の一部外〇筆 (緯度: 〇〇度〇〇分〇〇. 〇秒、 経度: 〇〇〇度〇〇分〇〇. 〇秒)			
5 土地の面積	〇〇〇. 〇〇平方メートル			
6 工事着手前の土地利用状況	宅地			
7 工事完了後の土地利用	宅地 (住宅建築あり)			
8 盛土のタイプ	平地盛土・腹付け盛土・谷埋め盛土			
9 土地の地形	溪流等への該当 有 無			
10 工事の概要	イ 盛土又は切土の高さ	〇. 〇〇メートル		
	ロ 盛土又は切土をする土地の面積	〇〇〇. 〇〇平方メートル		
	ハ 盛土又は切土の土量	盛土	〇〇〇. 〇〇立方メートル	
		切土	〇. 〇〇立方メートル	
	ニ 擁壁	番号	構造	高さ
1		鉄筋コンクリート造	〇. 〇〇メートル	〇. 〇〇メートル
2		間知石練積み造	〇. 〇〇メートル	〇. 〇〇メートル
ホ 崖面崩壊防止施設	番号	種類	高さ	延長
	該当なし		メートル	メートル

- ① 【許可を申請する規定】「第12条第1項」に〇印を付けてください。
- ② 【申請者 氏名】 **工事主※1** を記入してください。  
申請者が法人の場合は、法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- ③ 【※手数料欄】 記入しないでください。
- ④ 【工事主住所氏名】 **工事主※1** が法人の場合は、法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。  
【法人役員住所氏名】 法人の登記事項証明書に記載されている役員等全員の住所・氏名を記入してください。  
欄内に記入しきれない場合は「別紙のとおり」と記載し、別紙にて記載してください。
- ⑤ 【設計者住所氏名】 設計者が法人の場合は、法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- ⑥ 【工事施行者住所氏名】 工事施行者が法人の場合は、法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- ⑦ 【土地の所在地及び地番】 工事に関連して一体的に使用する土地のすべての地番を記入してください。欄内に記入しきれない場合は「外〇筆」と記入し、別紙にて記入しきれなかった地番をすべて記載してください。  
【代表地点の緯度経度】 小数点以下第1位まで記入してください。緯度・経度を調べる際は、世界測地系に従って現地で計測するほか、国土地理院が公表している地理院地図等で確認する等の方法があります。
- ⑧ 【土地の面積】 工事に関連して一体的に使用する土地の総面積を記入してください。
- ⑨ 【工事着手前の土地利用状況】 宅地、農地、採草放牧地、森林、公共施設用地のうち該当するものを記入してください。  
【工事完了後の土地利用】 宅地、農地、採草放牧地、森林、公共施設用地のうち該当するものを記入し、建築物等の建築の有無等の具体的な内容まで記入してください。
- ⑩ 【盛土のタイプ】 該当する盛土のタイプに〇印を付けてください。  
(1)平地盛土とは、勾配1/10以下の平坦地において行われる盛土で谷埋め盛土に該当しない盛土  
(2)腹付け盛土とは、勾配1/10超の傾斜地盤上において行われる盛土で谷埋め盛土に該当しない盛土  
(3)谷埋め盛土とは、谷や沢を埋め立てて行う盛土
- ⑪ 【土地の地形】 溪流等※2への該当の有無のいずれかに〇印を付けてください。
- ⑫ 【盛土又は切土の高さ】 盛土又は切土行為により生じる最大の高さを記入してください。
- ⑬ 【盛土又は切土をする土地の面積】 審査の対象となる部分の総面積を記入してください。
- ⑭ 【盛土又は切土の土量】 許可の対象となる部分の土量を記入してください。
- ⑮ 【擁壁】【崖面崩壊防止施設】【排水施設】 許可申請に必要な添付図面と照合できる番号を記入し、工事で使用するすべての構造又は種類を記入してください。欄内にすべてを記入しきれない場合は、「別紙のとおり」と記入し、別紙にて記載してください。  
なお、工事で使用しない項目には、「該当なし」と記入してください。

記入要領

へ 排水施設	番 号	種 類	内法寸法	延 長	⑮
	3	U型側溝	〇〇センチメートル	〇〇. 〇〇メートル	
	4	集水桝	〇〇センチメートル	〇箇所	
	5	雨水桝	〇〇センチメートル	〇箇所	
ト 崖面の保護の方法	コンクリート造及び間知石練積み造の擁壁で保護				⑯
チ 崖面以外の地表面の保護の方法	崖と反対方向に流れるように勾配を付けて排水するのり面緑化工（張芝工）				⑰
リ 工事中の危害防止のための措置	工事現場の周辺に鋼板を設置				⑱
ヌ その他の措置	なし				⑲
ル 工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日				⑳
ロ 工事完了予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日				
ワ 工程の概要	別紙のとおり				㉑
11 その他必要な事項	〇〇法〇条の許可を取得済み				㉒
※受付欄	※決裁欄	※許可に当たって付した条件		※許可番号欄	
年 月 日				年 月 日	
第 号				第 号	
係員氏名				係員氏名	
<p>[注意]</p> <p>1 ※印のある欄は記入しないでください。</p> <p>2 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。</p> <p>3 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。</p> <p>4 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に〇印を付してください。</p> <p>5 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。</p> <p>6 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。</p> <p>7 8欄は、該当する盛土のタイプに〇印を付してください（複数選択可）。</p> <p>8 9欄は、溪流等（令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに〇印を付してください。</p> <p>9 11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の状況の状況を記入してください。</p>					

- ⑯【崖面の保護の方法】擁壁、崖面崩壊防止施設、石張り、芝張り、モルタルの吹付け等を記入してください。
- ⑰【崖面以外の地表面の保護の方法】地表水排除工、植栽、芝張り、板柵工等を記入してください。
- ⑱【工事中の危害防止のための措置】工事の施工期間中において、周辺環境の保全、場内の安全確保、第三者への危害防止のために講じる具体的な安全対策を記入してください。
- ⑲【その他の措置】他の欄に記入されていない特記事項がある場合に記入してください。
- ⑳【工事着手予定年月日】土地の形質の変更工事を開始する予定年月日を記載してください。
- ㉑【工程の概要】「別紙のとおり」と記入し、工程表を添付することを基本としてください。
- ㉒【その他必要な事項】宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の状況の状況を記入してください。

- ※1 工事の請負契約の注文者又は請負契約によらないで自らその工事をする者
- ※2 溪流等の範囲は、地形図等を用いて判読された溪床勾配10度以上の一連の谷地形であり、その底部の中心線からの距離が25m以内の範囲を基本とします